

MDM でスマートフォンを含むマルチデバイスの機器特定精度を  
飛躍的に向上させる基幹技術の特許取得  
～パケット解析と独自データベースの組み合わせにより、極めて正確な管理情報を生成～

株式会社オプティム(東京都港区、代表取締役社長:菅谷俊二、以下オプティム)は、独自開発の MDM (Mobile Device Management) プロダクトである Optimal Biz 等で、企業ネットワーク上のスマートフォンを含む利用機器の特定精度を飛躍的に向上させる基幹技術(コードネーム:Tiger)について、日本国内において特許取得をいたしました。(海外では米欧中韓にて申請中。関連特許について、8 件の特許を申請し、うち 2 件の特許を日本国にて取得済み)

本技術は対象機器に対してエージェントレスで機能し、各機器のパケットデータを解析しデータのスコアリング等を通じて、オプティムが有する 2000 モデルを超えるネットワーク機器データベースと照らし合わせることで、企業ネットワーク上に存在するデバイスのメーカー名・型番といった詳細な機器情報の取得を正確に実現します。

昨今、MDM 市場の競争が激化し、求められる機能が高度化する中で、スマートフォンに限らずオフィス内で利用されるマルチデバイスの一括管理への対応要望が強まりつつあります。MAC アドレスの判別等を使った単純な機器判別では実用に耐えないケースが多く、こちらの基幹技術による機器特定機能は、オプティムの MDM である Optimal Biz が幅広く支持される最大の要因のひとつとなっています。

### 【特許情報の詳細】

特許出願番号 特願 2009-130552

起案日 平成 23 年 10 月 3 日

発明の名称 電化製品の種別を決定する情報処理装置、方法、

### 【オプティムの目指す、オプティマル事業とは】

**Optimal【形】最適な、最善の、最も有利な**

急速なインターネット普及に伴い、これまでネットを利用したことのないユーザーがネットを利用する機会が増えており、このユーザー層にとって現状のネットは必ずしも使いやすいものではありません。このような状況にあって、ネットを空気のように快適で、息をするように無意識に使えるサービス・インフラに変えていく。オプティマル事業とは、そのためのオプティム独自の最適化技術によるサービス

事業の総称です。 <http://www.optim.co.jp/products/>

### 【株式会社オプティムについて】

商号： 株式会社オプティム <<http://www.optim.co.jp/>>  
佐賀本店： 佐賀県佐賀市高木瀬町東高木223-1  
東京本社： 東京都港区港南1丁目6番34号 品川イースト  
代表者： 菅谷 俊二  
主要株主： 菅谷 俊二  
NTT インベストメント・パートナーズファンド投資事業組合  
東日本電信電話株式会社  
設立： 2000年6月  
資本金： 1億8,338万円  
主要取引先： 日本電信電話株式会社、東日本電信電話株式会社、西日本電信電話株式会社、株式会社NTTドコモ、株式会社大塚商会、キャノンマーケティングジャパン株式会社、富士ゼロックス株式会社、株式会社リコー、NEC パーソナルプロダクツ株式会社、株式会社 NTT ぶらら、株式会社 NTT ネオメイト、KDDI 株式会社など（順不同）  
事業内容： 複雑化する IT インフラ・ユビキタス社会において、スマートフォンから PC 上まで、誰もが IT を快適に使える為の利用環境最適化と企業側で増大するサポートコストの軽減やプレミアムサポートによる売上げ創出を目的としたソリューション群『Optimal(オプティマル)』シリーズをプロダクトとして提供しています。

本リリースに関する報道機関からのお問い合わせ先

株式会社オプティム 広報担当

TEL: 03-6718-4027 FAX: 03-6718-4037

E-mail: [info@optim.co.jp](mailto:info@optim.co.jp)